

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【公開番号】特開2024-31164(P2024-31164A)
 【公開日】令和6年3月7日(2024.3.7)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-043
 【出願番号】特願2022-134541(P2022-134541)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年9月27日(2024.9.27)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

20

本発明の代表的な一形態では、ゲームの進行を制御可能な遊技制御手段を備え、ゲームの結果が特別結果となる場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機が提供される。遊技機は、遊技球が入賞可能な特定領域を備える。特別結果は、第1特別結果と第2特別結果とを含む。特別遊技状態は、第1特別遊技状態と第2特別遊技状態とを含む。遊技制御手段は、ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能であり、ゲームの結果が第1特別結果となった場合に第1特別遊技状態を発生可能であり、ゲームの結果が第2特別結果となった場合に第2特別遊技状態を発生可能であり、第2特別遊技状態のときに特定領域に遊技球が入賞した場合に第1特別遊技状態を発生可能であり、通常遊技状態よりも実行権利が発生しやすい特定遊技状態を第1特別遊技状態の後に発生可能であり、特定遊技状態は、第1のゲーム回数だけ継続可能な第1特定遊技状態と、第1のゲーム回数とは異なる第2のゲーム回数だけ継続可能な第2特定遊技状態とを含み、第1特定遊技状態のときにゲームの結果が第2特別結果となる場合と、第2特定遊技状態のときにゲームの結果が第2特別結果となる場合とで、第1特別遊技状態の後に発生可能な特定遊技状態の振分における振分態様を異ならせることを可能とする。第1特別結果は、第1特別遊技状態の後に特定遊技状態を発生させない第1特別結果を含む。

30

【手続補正2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

40

ゲームの進行を制御可能な遊技制御手段を備え、前記ゲームの結果が特別結果となる場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、遊技球が入賞可能な特定領域を備え、前記特別結果は、第1特別結果と第2特別結果とを含み、前記特別遊技状態は、第1特別遊技状態と第2特別遊技状態とを含み、前記遊技制御手段は、前記ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能であり、

50

前記ゲームの結果が前記第1特別結果となった場合に前記第1特別遊技状態を発生可能であり、

前記ゲームの結果が前記第2特別結果となった場合に前記第2特別遊技状態を発生可能であり、

前記第2特別遊技状態のときに前記特定領域に遊技球が入賞した場合に前記第1特別遊技状態を発生可能であり、

通常遊技状態よりも前記実行権利が発生しやすい特定遊技状態を前記第1特別遊技状態の後に発生可能であり、前記特定遊技状態は、第1のゲーム回数だけ継続可能な第1特定遊技状態と、前記第1のゲーム回数とは異なる第2のゲーム回数だけ継続可能な第2特定遊技状態とを含み、

10

前記第1特定遊技状態のときに前記ゲームの結果が前記第2特別結果となる場合と、前記第2特定遊技状態のときに前記ゲームの結果が前記第2特別結果となる場合とで、前記第1特別遊技状態の後に発生可能な前記特定遊技状態の振分における振分態様を異ならせることを可能とし、

前記第1特別結果は、前記第1特別遊技状態の後に前記特定遊技状態を発生させない前記第1特別結果を含む、

遊技機。

20

30

40

50